

雄武町

議会だより



No. 167

令和元年8月発行

Contents

- ▶行政報告…………… 2P～3P
- ▶一般質問（4名）…………… 4P～7P
- ▶審議結果（6月定例会）…………… 8P～9P
- ▶議会日誌・あとなぎ…………… 10P



【今月の表紙】コンブ漁が始まりました（7月14日撮影）

令和元年 6月 定例会

令和元年第3回町議会定例会は、6月13日から14日までの2日間を会期として開催されました。

1日目は町長の行政報告、副町長の行政事務報告、教育長の教育行政報告の後、4名の議員による一般質問が行われました。

2日目は報告5件、令和元年度各会計補正予算等2件、条例改正3件、工事請負契約締結3件、規約の変更3件、固定資産評価員の選任1件、人権擁護委員の推薦1件、意見書1件を可決し閉会しました。

平成30年度各会計の決算見込額

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入-歳出	備考	
一 般	6,989,427	6,499,198	490,229	繰越明許費 186,228 千円 事故繰越し 8,515 千円	
国民健康保険事業	811,967	805,136	6,831		
簡易水道事業	354,492	348,119	6,373	繰越明許費 2,237 千円	
公共下水道事業	296,910	292,843	4,067		
介護保険事業	498,422	482,719	15,703		
介護サービス事業	72,546	72,545	1		
後期高齢者医療事業	72,015	71,944	71		
介護老人保健施設事業	132,670	127,606	5,064		
計	9,228,449	8,700,110	528,339		
会計名	収入	支出	差引	備考	
病院事業	収益的収支	838,669	812,411	26,258	資本的収支差引不足額は、過年度分損益勘定留保資金 10,195 千円で補填
	資本的収支	109,170	119,365	△ 10,195	



行政報告

中川原町長

平成30年度決算見込額
 一般会計歳入歳出差引金額
 4億9022万9千円
 (実質収支額)
 2億9548万6千円

懸案事項に関する要望

西紋別地区総合開発期成会

交通

- ▼ 一般国道238号（雄武町上沢木～川尻）防雪対策事業の促進
- ▼ 主要道道美深雄武線整備事業の実施

国土保全

- ▼ 元稲府漁港海岸海岸堤防等老朽化対策の促進
- ▼ 雄武川河口（建設海岸）の侵食に対する整備の実施
- ▼ 2級河川オコツナイ川・ポンオコツナイ川の整備促進

水産

- ▼ 元稲府漁港特定漁港漁場整備事業の促進
- ▼ 幌内地区（幌内漁港）水産生産基盤整備事業の促進
- ▼ 網走地区（雄武漁港）水産物供給基盤機能保全事業の促進
- ▼ 網走地区（沢木漁港）水産物供給基盤機能保全事業の促進

産物供給基盤機能保全事業の促進

▼ 網走地区（幌内漁港）水産物供給基盤機能保全事業の促進

▼ 沢木地区（沢木漁港）水産流通基盤整備事業の促進

農業

▼ 国営緊急農地再編整備事業の促進

▼ 草地畜産基盤整備事業 畜産担い手総合整備型（再編整備事業）の促進

環境

▼ 下水道広域化推進総合事業の促進

高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会

▼ 地方の将来の発展、国土強化に必要な道路予算の確保

▼ 丸瀬布遠軽道路「遠軽-瀬戸瀬」C～遠軽-C間（6・8km）の確実な開通

▼ 計画区間「遠軽～上湧別間」の計画段階評価の調査促進

林野火災（道有林）

【発生場所】 雄武町中幌内

【上空からのヘリコプターによる消火活動】

5月27日(月)～6月6日(水)のうち8日間

自衛隊	延べ27機	(散水回数127回)
北海道防災	延べ7機	(散水回数55回)
札幌市消防局	延べ2機	(散水回数14回)



【地上からの消火活動】 6月3日(月)～6月19日(水)のうち16日間

重機、林業機械による路網確保、放水器による地上消火活動を実施

【消防車両の出動台数】 タンク車、ポンプ車、資機材車等 延べ141台

【活動人員】 自衛隊、北海道、北海道警察、札幌市、雄武町、紋別地区消防組合、雄武消防団、興雄地区森林育成協同組合、雄武町森林組合、雄武町建設業協会 延べ2,001人

【鎮火宣言】 6月19日(水)17時（出火原因及び焼損面積については調査中）

【鎮火後の動き】

6月20日(木)～24日(月)のうち3日間、役場及びオホーツク総合振興局西部森林室にて巡視を行うが、火災や煙は確認されなかった

（6月25日(火)以降はオホーツク総合振興局西部森林室にて随時巡視を行っている）

※行政報告の内容に一部加筆しています

嶋村議員

高校の給食実施、意向調査の考えは

豊田教育長

補助金の目的外使用、実施できない

雄武高校での給食実施

問 全国的に過疎地自治体で高校の存続対策、子育て支援で全日制高校への給食を提供する自治体が増えていくが。

豊田教育長 オホーツク管内では置戸、津別、訓子府、清里高校で実施しております。

問 給食センターの事業費と規模、現在の給食提供数は。

中村教育振興課長 総事業費6億3900万円、補助基準上の規模は500人以下、現在給食提供数は370食です。

問 提供数に130食の余裕がある。高校への給食提供は可能では。

豊田教育長 補助金を算定する枠が500人以下であり、設計段階では当時の見

童生徒数に対応する400食の設備配置と、作業効率の高い動線設計をしているため、500食の提供は困難です。

問 給食実施については保護者含め要望が多い。意向調査を実施する考えは。

豊田教育長 物理的に難しいこと、補助金の目的外使用に当たりますので、高校への給食提供はできません。できないものを前提にアンケートを実施することとはできません。

漁業就業者確保対策

問 平成29年9月議会で漁業就業者対策での私の質問に対し、町長は答弁で「就業者確保に危機感を持ち、何をしなければならぬのかの考え方を示して、町と

一緒にやってみようという事が大事」と述べています。この問題を放置しておく、今後の増産体制に支障が出ると思います。町としても漁協への働きかけがあつてはと思うが、町の考え方は。

中川原町長 現在、漁協から町に対し具体的な支援要請はありません。要請があれば十分協議し、有効な支援について取り進めて参りたいと考えております。

問 農業・林業にある長期の研修制度、住宅の整備等、総合的な施策を実施していかなければ、ホタテ漁獲2万t体制への支障が出かねないので、漁協との情報交換をお願いします。

高齢者介護施設等の整備

問 平成29年6月議会の答弁で、今年度策定する高齢者保健福祉計画、この中で将来の施設を建設することに触れていく、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくためには新たな環境整備を進めていく時期に来ていると考えると答弁されていますが、作業の進捗状況について伺います。

中川原町長 近隣市町村の施設の設置の背景等、詳細な聴き取りを行い、計画策定時のニーズ調査の結果と照らし合わせて、本町に必要な施設整備に関わる調査研究を進める考えであります。



嶋村義文議員

役場内のペーパーレス化

問 役場内では紙の消費が多いと思うが、年間紙消費量を教えていただきたい。

佐々木財務企画課長 役場

全体の紙の消費量につきましては、なかなか把握が難しいので、購入量を提示します。平成29年度と30年度の比較で申し上げますと、役場全体、あるいは病院、学校も含めての全体の枚数で、29年度が29万3千枚、金額で言いますと24万4千円。30年度では若干増えまして、31万6千枚、金額では26万2千円です。

問 社会の流れはペーパーレス化だが、今後役場内でペーパーレス化を進める考えはあるのか。

中川原町長 委員会や協

佐藤議員

役場内でのペーパーレス化を進める考えは

中川原町長

初期投資等を考えるとメリットは少ない

議会等の会議につきまして、1丁に不慣れな方もいることや、会議の資料が委員の手に残らないことになり、ペーパーレス化するのは大変難しいと考えております。役場内での会議につきましては、

ペーパーレス化による初期投資を考慮すると、メリットはあまりないと感じておりますので、今のところ導入する考えはありません。

高齢者の見守り体制

問 町民にもわかりやすい「高齢者の見守り体制」の情報提供はどの行なっているのか。

中川原町長 町民全体に向けては町広報紙、町ホームページや家庭訪問等で、

介護福祉サービスに関することや相談先となる地域包括支援センターの連絡先等を周知しております。

問 役場のホームページが新旧入り混じった情報が混在しているがその対処は。

安井保健福祉課長 町ホームページ

以前から町としては「タイムリーに新しいものを書き換えて、見やすいように」という指示があったのですが、実際今そういったお話を聞きまして、ただちに直したり、あとは見やすいような形で情報提供に努めて参ります。

問 今後IoTや5Gなどを駆使した高齢者の見守りが安価に実現可能である。このようなテクノロジーを使い、人手不足の解消、介護する側の負担軽減・家族

の安心を得ることができ、そういうシステムを導入する予定はあるのか。

中川原町長 IoTを活用

した見守り型システムにつきましては現在導入する計画はありません。しかし、IoTを活用した見守り型システムについては、一人暮らし高齢者やその家族が安心安全に過ごすための支援と介護者等の負担軽減、介護職の人手不足等の対応において、効率的有効な手段となる可能性があるもののひとつとして認識しています。

※IoT（モノのインターネット）：様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。



佐藤 寧 議員

福原議員

月遅れのハイヤー券申し込みに緩和対応は

中川原町長

月ごとに枚数決定、制度化に理解を

居宅老人交通費（ハイヤー券）の支給

問 ハイヤー券の支給は、現在、移動手段を持たない老人世帯等にとりましては大変有用な施策として喜ばれています。ただ、沢木や幌内などの雄武市街から遠い地域に住む町民からは、市街地に用事に行くために、ハイヤー券を何枚も使ってしまうという声を多く聞きます。制度上、全く公平にという訳にはいかないとは思いますが、地域によって枚数を増やすとか、この不公平を少しでも緩和する方法を考えることも必要ではないでしょうか。

安井保健福祉課長

沢木・

幌内など遠いところでも同じ枚数では不公平だという声は以前から受けておりま

す。ただ、このハイヤー券の支給の目的は、高齢者の通院等に要する交通費助成という部分を含んでおります。雄武市街地から遠い町民は、病院バスを出していただきますので、そちらを利用することで補い合っている制度であると認識しています。

中川原町長

原則、月何

枚ということでは支給しています。例えば7か月過ぎていても1年分出す、という

ことにはならないと思います。行政を預かるものとして、その辺は制度化してやっておりますので、ご理解いただきたいと思います。

就学援助の認定基準

問 就学援助は、親の収入によって、子どもの教育に格差が出ないように援助する制度ですが、現在、雄武町では親の収入で、生活保護基準の1・3倍までの家庭を就学援助の対象としています。平成27年4月に1・2倍から1・3倍に援助の対象を上げた訳です。全道的にも就学援助の対象を拡げる傾向にあり、近隣の町村で言うと、遠軽町や佐呂間町では1・5倍の家庭までを就学援助の対象にして

います。雄武町でも対象を拡げる時期に来ているのではないかと思うのですが、考えをお伺いします。

豊田教育長

全道的には

1・2倍や1・4倍、1・5倍と市町村によって様々ですが、平成27年に1・3倍でいいだろうということとで決めさせていただきました。今の所1・5倍というのは考えていませんが、他町村のこともありますが、その動向を見極めて、その段階で引き上げについては考えていきたいと思えます。

※この他、病院バスの利用について伺いました。



福原峯雄 議員

**雄武町公認
キャラクターの活用方法**

問 新しく誕生した「いくらすじ子」のキャラクターの活用方法について、ラインスタンプの作成についてどのようにお考えでしょうか？

中川原町長 キャラクターグッズの作成を計画しており、雄武町観光協会で作成する計画です。現段階では、キーホルダーやクリアファイル、Tシャツ、ぬいぐるみなどを想定しております。ラインについては幅広い世代で活用されており、知名度向上には最適と判断されますので、本町におきましても来年度以降の作成に向け検討してまいります。

※ラインとは：LINE

(ライン) はスマートフォンやタブレットにインストールして使用する無料アプリです。このアプリをインストールした端末同士では、無料で電話とチャットが使えます。チャットは、テキストメッセージだけでなく写真や絵文字などのほかに「スタンプ」というキャラクター画像が添付できるのが特徴となっています。

**新築の際などの
一時的住宅の確保**

問 現在、公営住宅に空きがあるようですが、新築を行なった際に一時的・短期間でも公営住宅を借りることはできないでしょうか？

中川原町長 公営住宅の入居条件の一つに住宅困窮

度があります。公営住宅法第23条第2号の規定により「持ち家の新築、増改築のための一時的入居は認められない」とされているため公営住宅への入居はできません。町有一般住宅についても、住宅困窮度という部分では公営住宅に準じた取り扱いになりますが、町有一般住宅に空きがあり、他の入居希望者がいない場合は柔軟に対応していきたいと考えます。

**地方創生推進交付金を
活用したU-Jターン
新規就業支援事業の実施**

問 近隣では、紋別市、網走市、遠軽町、滝上町、西興部村、枝幸町が道庁に申し込みを行っているようですが、U-Jターン新規就業支援事業の雄武町の取り組みを教えてください。

佐々木財務企画課長

地方創生推進交付金の移住支援として、移住に100万円、起業に200万円最大300万円のものがあります。本年度は対象市町村ではありませんが、この事業は6年続くといい話を聞いており、来年度実施に向けて準備を進めていきます。

※この他、雄武100周年記念植樹のメンテナンスに対して、町長から「一部剪定が必要な樹木が見受けられたため剪定作業を行い、適切な維持管理に努めていきます。」との答弁がありました。

遠藤議員

「いくらすじ子」ラインスタンプ作成を

中川原町長

来年度以降の作成に向け検討する



遠藤友宇子議員

議 果

6 月 定 例 会

報 告

①

●平成30年度雄武町一般会計 繰越明許費繰越計算書

※金額は翌年度繰越額
公共ネットワーク整備事業 297万円
公用車更新事業 228万5千円
街路灯LED化整備事業 608万円

●プレミアム付商品券事業

57万6千円
畜産担い手育成総合整備事業
(再編整備型事業) 2320万円
中山間地域所得向上支援事業 243万円

●貯水施設整備事業

3億7050万2千円
建設機械整備事業 400万円

●町道排水改修事業

790万円

●町内河川改修事業

1095万円

●平成30年度雄武町一般会計 事故繰越し繰越計算書

※金額は翌年度繰越額
携帯電話等工リア整備事業 1億2102万5千円
団体宮かんがい排水事業 1880万円

●平成30年度雄武町簡易水道 事業特別会計繰越明許費繰越 計算書

※金額は翌年度繰越額
公用車更新事業 223万7千円
(以上、報告のとおり)

条 例 改 正

●図書館条例の一部改正

新図書館の開館に伴うもの。

●災害弔慰金の支給等に関する 条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する
法律施行令の改正に伴うもの。

●放課後児童健全育成事業の 設備及び運営に関する基準を 定める条例の一部改正

放課後児童健全育成事業の
設備及び運営に関する基準の
改正に伴うもの。
(以上、原案可決)

工 事 請 負 契 約 締 結

●雄武地区配水管更新工事

契約金額 6710万円
契約の相手方
日東建設㈱
代表取締役 久保 元

●雄武浄化センターし尿受入 施設建設工事(土木・建築)

契約金額 2億2110万円
契約の相手方
日東・渡辺経常建設共同企業
体(雄武町)
代表者 日東建設㈱
代表取締役 久保 元

●雄武浄化センター水処理設 備改築更新工事

契約金額 1億3222万円
契約の相手方
天内・浜口特定建設工事共同
企業体(北見市)
代表者 天内工業㈱
代表取締役 伊藤 嘉高
(以上、原案可決)

規 約 の 変 更

●北海道市町村職員退職手当 組合規約の変更

●北海道市町村総合事務組合

規約の変更

●北海道町村議会議員公務災
害補償等組合規約の変更
各組合の構成団体の脱退に
伴い、組合規約の変更につい
て協議する必要が生じたもの。
(以上、原案可決)

固 定 資 産 評 価 員 の 選 任

字雄武390番地の21
林 史祥 氏
▼選任年月日
令和元年6月17日
(以上、原案同意)

人 権 擁 護 委 員 の 推 薦

字雄武340番地
池 慶 二 氏
字雄武1131番地の6
松 嶋 恵美子 氏
(以上、適任とする)

意 見 案

●新たな過疎対策法の制定に 関する意見書

過疎対策については、昭和
45年に「過疎地域対策緊急措
置法」制定以来、4次にわた
る特別措置法の制定により、
総合的な過疎対策事業が実施
され、過疎地域における生活
環境の整備や産業の振興など
一定の成果を上げたところで
ある。

しかしながら、依然として
多くの集落が消滅の危機に瀕
し、また、森林管理の放置に
よる森林の荒廃や度重なる豪
雨・地震等の発生による林地
崩壊、河川の氾濫など、極め
て深刻な状況に直面している。
過疎地域は、我が国の国土
の過半を占め、豊かな自然や
歴史・文化を有するふるさと
の地域であり、都市に対する
食料・水・エネルギーの供
給、国土・自然環境の保全、
いやしの場の提供、災害の防
止、森林による地球温暖化の
防止などに多大な貢献をして
いる。
過疎地域が果たしているこ
のよつな多面的・公益的機能



補正予算

一般会計（第2号）

1238万5千円を追加し、予算の総額を55億6440万2千円とした。

【主な内容】

- ◇総務費 53万円増
 - ・財政調整基金積立金の増
- ◇民生費 897万7千円増
 - ・プレミアム付商品券事業費補助金の増ほか
- ◇商工費 287万8千円増
 - ・雄武町観光協会補助金の増ほか

介護保険事業特別会計（第1号）

48万5千円を追加し、予算の総額を4億7955万3千円とした。

【主な内容】 高額医療合算介護サービス費の増

は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公共的機能を今後とも維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。
(提出者・溝田 昌志)
(賛成者・福原 峯雄)
(以上、原案可決)

報告

②

(ホテル運営に関する報告)

●平成30年度雄武町観光開発株式会社決算

●令和元年度雄武町観光開発株式会社予算

収入	2億3627万5462円	収入	2億5064万5000円
支出	2億3720万7984円	支出	2億4999万4643円
当期純損失	93万2522円	経常利益	65万 357円

ホテル運営に関する質疑応答

Q10 回利用で1回無料入浴ができるポイントカードはなぜ止めたのか。

A 売り上げをできるだけ上げるよう進める中で、収支等を考え止めた。

Q 人件費が前年度より増加しているが、経営改善がなされた要因と長期借入金償還計画及び全室禁煙化後の特徴的な動きは。

A 人件費増加は、労基の指導、支配人を中心に管理部、営業部、調理部の3部制をとり、その下にマネージャーを置き職務階級制を作った。また、

町の指定管理等で働いている方々の給与水準を考え、決して高い金額ではないがパートさんを含め給与を上げた。ベッドの入れ替えには大きな反響があり、非常に高い評価を得ている。禁煙化については3月に客室のクリーニングを実施し、こちらも好評。長期借入金の関係は、基本的に今の段階で大きく返済計画を立ててはいかず、利息だけを支払いしている状況。

Q ホテルの客単価が平成30年度は5850円で令和元年度は6200円。客単価が低いのは。また、今年度のプライスカレンダーの作りこみと稼働率は。

A 客単価は昨年まで一般に比べ非常に低い状況。客室単価を上げるため繁忙期と閑散期を整理しプライスカレンダーを作成、上期終了時に再度考えていく。なお直近の稼働率は90%超。

Q 全室禁煙に対する外国人への説明法とペナルティーは。

A 宿泊客は日本人が多いが、中国語を含めた多言語について、フロントでの対応を精査する。罰則については考えておらず道徳的に判断。

Q 開業20年を迎えたが修繕計画は。

A 建築係で現状確認し、年次計画を作成し整備する。
(以上、報告のとおり)

議 会 日 誌

【平成31年】 3月

- 6～15日 第1回定例会開催
- 7日 議会運営委員会開催
- 9日 鈴木宗男雄武町後援会「新年交礼会」出席、議長
- 10日 「活力あふれる北海道の未来を実現する会」事務所開き（札幌市）出席、議長
- 13日 雄武漁協第56回通常総会出席、議長
- 〃 雄武水産加工協第55回通常総会出席、議長ほか1名
- 20日 雄武小第72回卒業式出席、議長ほか1名
- 22日 沢木小第71回卒業式出席、副議長ほか1名
- 〃 共栄小第66回卒業式出席、高野総務文教常任委員会委員長
- 〃 豊丘小第69回卒業式出席、村上議員
- 26日 平成31年度西紋別地区総合開発期成会総会（興部町）出席、議長
- 27日 雄武町社会福祉協議会平成30年度第2回評議員会出席、議長

4月

- 8日 雄武小入学式出席、議長ほか1名
- 〃 沢木小入学式出席、副議長ほか1名
- 〃 雄武中入学式出席、議長
- 〃 雄武高入学式出席、副議長ほか6名
- 10日 北オホーツク農協第7回通常総会（興部町）出席、議長
- 14日 道消防操法訓練大会出場に係る結団式出席、議長
- 25日 平成31年度雄武町交通安全推進委員会総会出席、議長

【令和元年】 5月

- 7日 全員協議会開催
- 9日 第2回臨時会（初議会）開催
- 16日 第2回議会広報特別委員会開催
- 20日 令和元年度高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会総会（紋別市）出席、議長

- 20日 令和元年度オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会定例総会（紋別市）出席、議長
- 〃 雄武水産施設利用協同組合第19回通常総会出席、福原産業厚生常任委員会委員長
- 〃 第3回議会広報特別委員会開催
- 21日 高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会及び西紋別地区総合開発期成会要望活動（網走市）出席、議長
- 22日 令和元年度雄武町商工会通常総会出席、福原産業厚生常任委員会委員長
- 24～25日 オホーツク町村議会議長会第1回定期総会（滝上町）出席、議長
- 25日 第41回雄武中学校運動会出席、溝田総務文教常任委員会委員長
- 28日 令和元年度雄武町社会福祉協議会定時評議員会出席、福原産業厚生常任委員会委員長
- 30日 令和元年度オホーツク圏活性化期成会定期総会及び第8回石北本線部会（網走市）出席、議長
- 31日 令和元年度雄武町はまなす会総会出席、議長

6月

- 1日 鈴木宗男・鈴木貴子「第14回北海道セミナー」（札幌市）出席、議長
- 2日 各小学校運動会出席（沢木・遠藤議員、共栄・佐藤総務文教常任委員会副委員長、豊丘・溝田総務文教常任委員会委員長）
- 5～6日 令和元年度遠紋地区市町村議会議長会研修会・総会（湧別町）出席、議長ほか1名
- 7日 議会運営委員会開催
- 11～12日 北海道町村議会議長会第70回定期総会・研修会（札幌市）出席、議長

編集あとがき

このたびの改選において議会広報特別委員会の顔ぶれも変わりました。

この広報紙も町民の「知りたい事」「疑問に思う事」を掲載することで、より議会だよりを深く見てもらい、町の事に一層関心を持っていただけるような広報紙にしていきたいと思っております。

雄武町の海ではコンブ漁が始まり、山では牧草のロール、そして二番草の作業が始まっています。機械化が進む中、コンブ漁は子ども達には課外学習として、家族、年上の人、同世代の人との絆、そして、なんととっても家業を知る事。

「風の子、雄武っ子」

夏休み中には、日焼けした顔の子ども達の姿が見られることと思います。

作業の合間に、元気な子ども達に会っのが楽しみです。

議会広報特別委員

委員長 溝田 昌志